

フォーラム

障害から

ひろがる

表現とケア

ともに創造するための  
はじめの一歩

九州大学ソーシャルアートラボ  
「演劇と社会包摂」制作実践講座

日本アートマネジメント学会九州部会 2019 年度研究会



九州大学



大学院芸術工学研究院  
大学院芸術工学府  
芸術工学部

受講料無料

定員 50 名

(先着順)

2019

7/15 (月祝)

14:00-17:00

申し込み締切 7/10 (水)

九州大学大橋キャンパス  
デザインコモン 1F

福岡市南区塩原 4-9-1

講師

吉野 さつき ワークショップコーディネーター  
森田 かずよ ダンサー・俳優  
倉品 淳子 俳優・演出家  
森山 淳子 認定 NPO 法人ニコちゃんの会代表

コーディネーター

長津 結一郎

九州大学ソーシャルアートラボ  
/ 日本アートマネジメント学会九州部会委員・幹事

九州大学ソーシャルアートラボでは、2018年度より「演劇と社会包摂」をテーマとした学びの場をひらいています。今回は、「障害からひろがる表現とケア」について考えるフォーラムを開催します。

「ケア」は、障害のある人が関わる表現活動において、創造、鑑賞、発表などのあらゆる現場で不可欠なものです。と同時に、「ケア」を行うこと自体や、そこから生まれる関係性によって、豊かな表現がひろがることもあります。障害のある人の表現活動に長年携わる方々をお招きし、国内外の事例を伺うことを通じて、多様な人たちがともに創造するためのはじめの一步について、一緒に考えてみませんか。

## 講師プロフィール



### 吉野 さつき

ワークショップコーディネーター・愛知大学文学部教授

英国シティ大学大学院でアーツ・マネジメントを学ぶ。公共ホール勤務、英国での研修（文化庁派遣芸術家在外研修員）後、コーディネーターとして、教育、福祉、などの現場でアーティストによるワークショップを数多く企画。アウトリーチ事業やコミュニティアーツプログラム、ワークショップ等の企画運営を担う人材育成にも各地で携わる。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」では、「めい」として活躍中。撮影：杉本文



### 森田 かずよ

ダンサー・俳優・Performance For All People.CONVEY 主宰

先天性の障害（二分脊椎症・先天性奇形・側湾症）を持って生まれる。18歳より表現の世界へ入り、ある時は義足を身につけ、ある時は車椅子に乗りながら、舞台に立つ。大学卒業後、奈良県の劇団を経て現在フリーで活動し、多数の公演に出演し、メディア出演も多数。近年は、文化庁やブリティッシュカウンシルが主催する、障害のある人とパフォーマンスアーツの可能性についてのシンポジウムなどにも登壇し、日本の障害者パフォーマーのリーダ的存在のひとつとしても注目されている。



### 倉品 淳子

俳優・演出家

劇団山の手事情社所属。1990年より俳優として劇団山の手事情社にて舞台表現を追求する傍ら、インプロや大道芸「あなざ事情団」「門限ズ」などのユニットに参加し、観客参加型演劇、他分野アーティストとの作品作りなど、演劇の可能性を広げる活動も同時に行ってきた。スイス、ドイツ、ポーランド、ルーマニア、韓国など海外での公演も多数。2012年より認定NPO法人ニコちゃんの会「ずっと演劇アートプロジェクト」チーフプロデューサー。異ジャンルコラボバンド「門限ズ」では、「じょほんこ」として活躍中。



### 森山 淳子

認定NPO法人ニコちゃんの会 代表理事

認定NPO法人ニコちゃんの会を設立し、非日常的な時間や場づくりを積極的に取り入れ、演劇・身体表現ワークショップなど、福岡市内を中心に企画・実践する。倉品淳子を演出家に迎え、60歳以上の女性との演劇作品「よろぼし」（2004年）や身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演『BUNNA』にプロデューサーの立場から携わる。



### 長津 結一郎

九州大学大学院芸術工学研究院助教

専門はアートマネジメント、芸術と社会包摂。博士（学術・東京芸術大学）。異なる立場や背景をもつ人々がどのように協働することができるのか、ワークショップの開発や協働の場づくりを題材として研究／実践の双方からアプローチを試みている。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』（九州大学出版会、2018年）など。これまで関わった主なプロジェクトに「東京迂回路研究」など。2016年より現職。

## 募集要項

対象：・文化事業や文化施設関連の仕事に従事されている方  
・福祉事業関連の仕事に従事されている方  
・こうした分野に将来携わりたいと考えられている方

受講料：無料 定員：50名（先着順）

申し込み締切：7/10（水）

※ 障害の有無は問いません。  
※ 手話通訳あり。「UDトーク」を活用したリアルタイム字幕を提供いたします。  
※ 参加にあたって心配な事がある方はお気軽にお問い合わせください。

## お申し込み、お問い合わせ

下記の項目を記載のうえ、メール・FAXのいずれかよりお申し込みください。ソーシャルアートラボ公式ホームページ内「CONTACT」からもお申し込みいただけます。

- ① 氏名（フリガナ） ② 年代 ③ 電話番号  
④ メールアドレス ⑤ 所属（あれば） ⑥ 参加の動機

九州大学ソーシャルアートラボ

TEL&FAX 092-553-4552

E-mail [sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:sal-cul@design.kyushu-u.ac.jp)

URL <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

「ソーシャルアートラボ」で検索



## 九州大学ソーシャルアートラボとは

九州大学ソーシャルアートラボは、社会の課題にコミットし、人間どうしの新しいつながりを生み出す芸術実践を「ソーシャルアート」と捉え、新しい生の価値を提示していくことを目的としています。平成30年からは、「アートと社会包摂」をテーマとして研究・教育・実践・提言に取り組んでいます。Webサイト：<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/>

## 認定NPO法人ニコちゃんの会とは

認定NPO法人ニコちゃんの会は、「どんなに重い病気や障がいがあっても、その人らしい心豊かな人生を生き抜くことができる社会を目指し、活動している団体です。芸術・研究・啓発・介護（日々の生活のサポート）など多岐にわたる活動を、障がい児の親をはじめとし、医療・デザイン・舞台・教育など幅広い分野のスタッフで企画・運営しています。Webサイト：<http://www.nicochan.jp/>

## 関連講座

認定NPO法人ニコちゃんの会 すっごい演劇アートプロジェクト  
身体的にバラエティあふれる人たちとの演劇の作り方

演出家の倉品淳子さんによるワークショップのなかで、さまざまな人たちとの関わりを通じて表現が生まれる現場を体感するとともに、そこにあるケアの役割について考えます。

7/12（金） 18:00-21:00 | 7/13（土） 11:00-17:00 | 7/14（日） 11:00-17:00 | 7/15（月祝） 10:00-13:00

講師：倉品 淳子（俳優・演出家）

会場：九州大学大橋キャンパス デザインコモン2F

12時頃よりワークショップの成果発表を行います。

詳細は認定NPO法人ニコちゃんの会のウェブサイトでお知らせします。